

都市計画マスタープラン「地域別構想」(素案)について

5 1 中之島地域の概要

- ・ 長岡市北部に位置する中之島地域は、東部を刈谷田川、西部を信濃川と猿橋川に囲まれた平野部にあり、中之島地区に市街地が形成されています。また、広大な田園地帯が広がる中に、農村集落が点在しています。
- ・ この地域の南東部には、北陸自動車道や国道8号が南北に縦断し、中之島見附ICが設置されています。また、西部には国道403号が配置され、地域を東西に横断する県道見附中之島線が配置され、地域住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっています。
- ・ IC周辺地区には、恵まれた高速交通体系を活かして、流通・工業関連企業が立地しています。また、隣接地には「みずほ団地」が整備され、新たな定住人口の受け皿となっています。
- ・ 地域資源としては、米や大口レンコンなどの特産品のほか、大塚合戦などの伝統文化や、大河津分水路の実現などに尽力した大竹貫一翁の生家「大竹邸記念館」などがあります。

地域の概要を示す写真

地域に関するデータ

- ・ 総面積 42.6 km² (5.1%)
- ・ 総人口 12,382 人 (4.4%)
- ・ 世帯数 3,127 世帯 (3.3%)
- ・ 年少人口比率 14.2%
- ・ 老齢人口比率 23.0%

(出典)平成17年国勢調査
カッコ内は市全体に占める割合

2 現状と課題

地域産業の活性化と土地利用の課題

- ・ 中之島地域は、流通・機械・金属加工などの企業が集積し、産業が盛んな地域です。この強みを活かし、さらなる地域振興につなげていくため、都市整備の面からも産業の活性化を支援する必要があります。
- ・ 既存の工業・業務集積地においては、社会情勢の変化にあわせた適切な開発誘導が必要です。
- ・ 「中之島流通団地」には、これまでに多くの企業が立地しているものの、一部に未分譲地が残っています。また、「みずほ団地」においても、未分譲地が残っています。

- ・ 刈谷田川の大規模な河川改修に伴う商店の移転や、見附市の国道 8 号沿道における大型店の立地などにより、地域における身近な買い物の場が少なくなっています。今後は、高齢社会の進行を踏まえ、商業機能を維持・確保していく必要があります。

道路・交通ネットワーク上の課題

- 5 ・ 中之島地域と各地域を結ぶ国・県道は、住民の通勤・通学などの日常生活はもとより、広域的な交流・連携を支える重要な路線であることから、道路幅員の拡幅や歩道整備など、さらなる道路機能の強化が必要です。
- ・ 身近な生活道路においては、交通安全施設の設置など、歩行者の安全性の確保に向けた取組みが必要です。
- 10 ・ 中之島地域には、公共交通として鉄道と路線バス網が運行されています。これらの公共交通は、住民の通勤・通学を支える重要な移動手段であることから、今後も維持・充実を図る必要があります。また、地域の一部には、公共交通の空白地域が見られることから、このような地域への対応が必要です。

生活環境上の課題

- 15 ・ 中之島地域は、集落が点在する地理的条件などの制約から、合併した各地域に比べて、下水道の整備が遅れています。

安全・安心なまちづくりの課題

- ・ 刈谷田川、猿橋川、中之島川流域の低地部などでは、近年、集中豪雨時の際に、浸水被害が発生しており、これらの河川改修が必要です。
- 20 ・ 平成 16 年の「新潟・福島豪雨」や「新潟県中越地震」の被災の教訓を活かして、災害時の避難地や防災活動の拠点となる場の整備が必要です。

地域資源を活かしたまちづくりの課題

- ・ 中之島地域には、恵まれた高速交通体系をはじめ、350 年の歴史を有する中之島大風合戦など有形・無形の文化財、優良な農地から生産される農産物など、さまざまな地域資源があります。今後とも、これらの地域資源を活かしつつ、さらなる地域振興に向けた取組みが必要です。
- 25

3 地域づくりの方針

30 < 地域の将来像 >

今後、地域委員会や策定委員会の議論を踏まえ、記載する予定

地域産業の活性化と土地利用の誘導

- ・ 「中之島流通団地」では、積極的な企業誘致に取組み、未分譲地の解消を進めます。
- ・ 「みずほ団地」では、職住が近接する住宅地の特性を活かして、未分譲地の解消を進め、市街地における空き家や空き地の有効活用などの仕組みづくりを検討します。
- 5 　・ 雇用の場を創出し、定住人口の確保につなげていくため、必要に応じて適切な土地利用の誘導とともに、基盤整備を検討します。
- ・ 市街地や農村集落では、日常生活において身近な範囲内に買い物の場を確保し、高齢社会に対応した地域づくりを推進するため、土地利用の面からも適切な支援を行います。

幹線道路及び生活道路の整備

- 10 　・ 中之島地域と各地域の連携強化を図るため、国道 403 号、県道見附中之島線、県道押切停車場線などの国・県道については、さらなる道路機能の強化に向けて、道路拡幅等を促進します。
- ・ 特に長岡地域との連携強化に向けて、「信濃川右岸堤防道路」の整備を推進します。
- 15 　・ 通学路や身近な生活道路では、道路照明灯など交通安全施設の設置や歩道の整備を進めます。

公共交通ネットワークの充実

- ・ JR 押切駅では、公共交通の利用促進を図るため、県道押切停車場線の整備と合わせたパークアンドライド用駐車場や駐輪場の整備を検討します。
- 20 　・ 中之島地域と JR 長岡駅を結ぶバス路線は、その運行を維持するとともに、バス停の上屋整備など、バス交通の利用環境の向上を図ります。また、公共交通の空白地域においては、新たな交通手段の導入を図るため、住民が主体となったバス交通の検討や運営を支援します。

快適な生活環境を支える污水处理施設の整備推進

- 25 　・ 中之島地域における污水处理施設の整備を効率的に推進するため、污水处理計画を見直しました。今後は、新たな計画に基づき、他の合併地域と同程度まで整備水準を高めていきます。

安全・安心な都市基盤の整備

- 30 　・ 刈谷田川、猿橋川、中之島川の河川改修を促進するとともに、中小河川や用悪水路の整備を進めます。また、市街地や集落内の低地部などにおいては、道路側溝等の整備を推進します。
- ・ 刈谷田川の旧河川敷を活用し、災害時には地域の防災拠点、平常時には周辺地域も含めたにぎわいと交流の場として「(仮)中之島防災公園」の整備を推進します。

地域資源の活用に向けた基盤づくり

- ・ 地場産品の直接販売や農産物と農村文化を融合させた観光情報の発信など、住民が主体

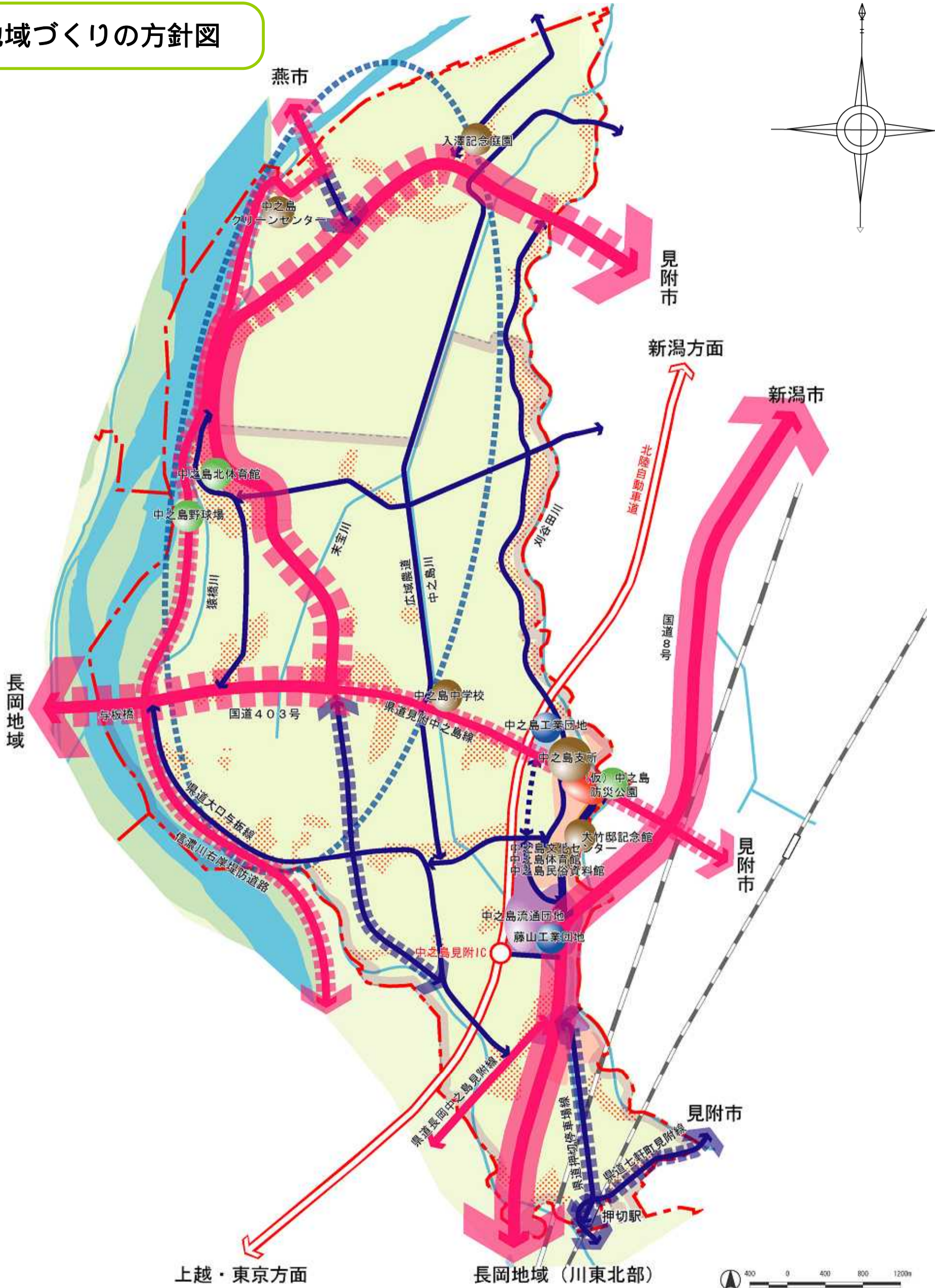
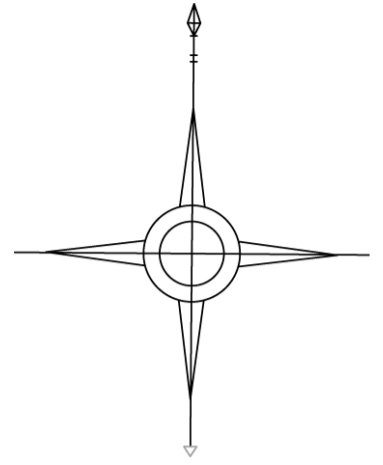
となって取組むさまざまな地域資源を活かしたまちづくりを、都市整備の面からも支援します。

優良農地の維持・保全

- ・ 地域一帯に広がる優良な農地は、本市を代表する穀倉地帯であるとともに、魅力ある田園景観を形成しており、今後も適切に維持・保全します。

5

地域づくりの方針図



上越・東京方面

長岡地域 (川東北部)



土地利用		凡例	
近隣型商業集積地	にぎわい住宅地	高速道路	主要幹線道路
流通・業務地	うるおい住宅地	主要幹線道路	都市内幹線道路
工業・業務集積地	農村集落地	都市内幹線道路	
レクリエーション交流地	農地		
	山林・河川敷		
公共公益施設	河川	都市計画区域	地域界
汚水処理区域	都市計画区域	新幹線	鉄道